

統計調査についてお知らせします

# 統計は未来を支えるおくりもの

## 今年度は住宅・土地統計調査が行われています！

住宅・土地統計調査は5年ごとの統計調査で、人が居住する建物の実態を調査し、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的としています。

得られる具体的な数値としては、住宅数・空き家数・持ち家率・一戸建の延べ面積・持ち家の取得方法・借家の家賃・高齢者世帯の借家率・バリアフリー化率・耐震化診断率・住居の土地所有率・宅地などの取得方法などがあります。空き家数を例にとると、2018年の調査では全国に848万9千戸の空き家が存在し、空き家率は13.6%であることがわかりました。他にも高齢者住宅のバリアフリー化率は42.4%などの結果が得られており、これらは空き家対策や高齢社会におけるバリアフリー推進の基礎資料などに利用され、みなさまがより暮らしやすくなるような社会の実現に活用されています。



## 全国の農林業実態を明らかに！5年に一度の農林業センサス！



農林業センサスは農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のために行なう調査です。5年ごとに、農林業を営んでいる全ての農家を対象に調査が行われ、令和6年度がその年に当たります。

具体的な調査結果の利用方法としては、地方交付税の算定や特定農山村地域の認定、経営所得安定対策や地域資源の保全管理政策などの基礎数値としての活用などがあります。

## 歴史は100年以上！国の最も重要な統計調査、国勢調査。

国勢調査は、大正9年（1920年）の調査開始以来、国の最も基本的で重要な統計調査として前回調査の令和2年に100年の節目を迎えました。5年ごとに、国の人口、就業状態、世帯員の数、住居の種類などの項目について、日本国内に住む全ての人を対象に調査が行われます。

この調査で得られた結果は、医療費や年金額の算定、避難所などの防災計画への活用、民間企業の出店計画などに利用されており、我々にとって最も身近で関係がある調査と言えます。



## 統計調査員を募集しています！

来年度、全国で一斉に行なわれる「農林業センサス」、令和7年度に実施される「国勢調査」の調査員を募集しています。仕事をしている方でも、都合のつく方や意欲のある方であれば大歓迎です。40名ほどの調査員を募集しています。統計調査で「未来を支えるおくりもの」を自分や家族に届けましょう。調査員の詳細については下記までお問い合わせください。

最上町統計調査員協議会  
事務局 総務企画課 まちづくり推進室 43-2261

10月18日



統計の日